（施設所管課記入様式）

大東市体育施設　内部評価結果　（施設所管課による評価）

【評価対象施設】 北条体育館・北条グラウンド
【指定管理者名】 特定非営利活動法人ほうじょう
【評価対象年度】 令和６年度
【施設所管課名】 産業・文化部　スポーツ振興課

業務内容について評価
体育館とグラウンドについては、協定書及び仕様書に基づき適切に管理運営が実施されていたものと判断します。しかし、体育館とグラウンドの利用状況は昨年度に比べ減少していますので、人気のある「バスケットボールアカデミー」「コミセンサッカー教室」を始め、好評を得た「スリッパフライングカーニバル」等、地域住民に寄り添った活動を継続していただくともに新規事業も視野に入れて利用者と使用率の増加に繋がる取り組みを期待します。併せて利用者増に繋がるＳＮＳでの発信や様々な媒体を活用したＰＲ活動も期待します。今後も人気のある自主事業の質を高めつつ、利用者が安全で安心に利用できる管理運営とともに施設サービスの向上を意識した管理運営を期待します。

利用者満足度について評価
体育館利用者から要望が目立ちました。今年度に実現したバスケットゴールの電動化のように利用者から高評価を獲得したことから、施設整備が利用者と使用率の増加に繋がる要因になるものと改めて認識いたしました。整備には高額な費用等が必要となりますが、指定管理者と市が協働して実現可能な要望から一つひとつ実現し、利用者満足度の上昇に取り組みたいと考えています。

収支状況について評価
【福祉政策課で一括評価】

総合評価
施設の管理運営については、協定書、仕様書に基づき適切に実施されていると判断します。また、複合施設としての特徴を生かされ、様々な分野の事業に取り組まれていることも評価できます。しかしながら、グラウンドの利用者数と使用率は体育館と比べると低いため、施設の活用促進策やイベントの企画等、利用者数と使用率の向上に向けた取り組みに努めてください。これからも施設利用者の目線を大切にされ、地域に愛される体育館とグラウンドを目指し管理運営に努められることを期待します。